

名 称	自己評価委員会
開 催 日 時	令和7年5月16日 10時45分～12時45分
場 所	豊橋市立看護専門学校 会議室
出 席 者	校長 副校長 副校長補佐 事務長 教務主任 主査 実習調整者 教材係および 図書係のリーダー
欠 席 者	2科教務主任(研修) 1科主査(研修)
議 題	1) 令和7年度 係・対策グループの取り組み事項について 2) 学校評価の公表について
会議の内容 はじめに、令和7年度の係及び対策グループの取り組み事項についてリーダーとなる教員が説明を行い、目標及び取り組み内容が了承された。 次に、令和6年度末に行った教員の自己点検・自己評価について副校長が意見を求めた。	

2科主査：地域社会、国際交流、研究のカテゴリーが低いのは、改善すべき問題であり、研究に充てる時間や費用の捻出を今後考えていく必要がある。入学者の選抜や学生の看護実践の学習支援体制など、既に取り組みを行っているものについては、もっと高く評価されるべきである。 事務長：評価の平均が2を切っている項目については特に、できなかったところを分析し、対策を計画・実践したうえで、再度評価を行うというサイクルになっていなければならない。 副校長補佐：評価結果の考察をまとめ、まずは基本的な理解を促すこと、問題意識を持つことが必要である。 副校長：学校としてはラダーを作成したので、それに基づき教育活動を行っていく。研究に対しても意欲を示している教員もいる。次の会議でしっかりと話し合っていきたい。	
--	--

校長　　：評価結果の考察については、今後運営委員会で意見をもらうとよい。

1 科実習調整者：すでに改善に向けた取り組みを始めているものもあるので、年度末の自己評価とはすでに評価も変わっているのではないか。

事務長　：改善に向けた取り組みを始めていることを知ってもらうため、評価結果と併せて自己評価委員会の議事録を公表するのによい。

1 科教務主任：同意見である。

副校長　：令和6年度の自己点検・自己評価の結果と本会議の議事録をホームページで公表する。